



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 西部ガスホールディングス株式会社
 コード番号 9536 URL <https://hd.saibugas.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道永 幸典

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部連結決算グループマネージャー (氏名) 古閑 裕一郎

TEL 092-633-2245

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	178,186	23.7	1,055		2,041		7,820	
2022年3月期第3四半期	144,079	8.5	3,599		2,784		2,064	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 11,770百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 4,695百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	211.21	
2022年3月期第3四半期	55.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	427,720	89,617	19.4
2022年3月期	395,664	80,639	18.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 83,131百万円 2022年3月期 74,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期		35.00			
2023年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	16.1	6,500		6,500		10,000		270.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	37,187,567 株	2022年3月期	37,187,567 株
2023年3月期3Q	161,008 株	2022年3月期	162,173 株
2023年3月期3Q	37,026,132 株	2022年3月期3Q	37,025,179 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は業績連動型株式報酬制度(株式給付信託)を導入しており、期末自己株式数には、株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式(2023年3月期3Q 76,600株、2022年3月期78,100株)が含まれております。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算においては、当該信託口が保有する当社株式(2023年3月期3Q期中平均 77,200株、2022年3月期3Q期中平均 79,060株)を、控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2022年4月よりスタートした新たな中期経営計画「Next2024」のもと、エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして、中核であるガスエネルギー事業の競争力強化を図るとともに、電力・その他エネルギー事業や不動産事業等、引き続き事業構造の変革に取り組んでおります。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンニュートラル都市ガスの供給開始や、各自治体と脱炭素に関わる連携協定を締結する等、今後もお客さま及び地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、ガス事業において原料費調整によるガス料金単価の上方調整の影響等により、前年同期に比べ34,107百万円増の178,186百万円となりました。

費用面につきましては、主にガス事業及びLPG事業において売上原価が増加いたしました。

この結果、営業利益は1,055百万円（前年同期は営業損失3,599百万円）、経常利益は2,041百万円（前年同期は経常損失2,784百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ハウステンボス株式会社の株式売却益を特別利益に計上したこと等により7,820百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,064百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、ガス事業のウエイトが高いため、冬期を中心とした期間に多く計上されるという季節的変動があります。

〔収支の概要〕

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期 連結累計期間 (2022.4~2022.12)	前第3四半期 連結累計期間 (2021.4~2021.12)	増 減	増減率 (%)
売 上 高	178,186	144,079	34,107	23.7
売 上 原 価	126,864	96,756	30,108	31.1
供給販売費及び一般管理費	50,266	50,922	△656	△1.3
営業利益又は営業損失(△)	1,055	△3,599	4,654	—
経常利益又は経常損失(△)	2,041	△2,784	4,825	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	7,820	△2,064	9,884	—

〔ガス販売実績等〕

項 目	単位	当第3四半期 連結累計期間 (2022.4~2022.12)	前第3四半期 連結累計期間 (2021.4~2021.12)	増 減	増減率 (%)	
販 売 量	家 庭 用	千m ³	130,733	141,103	△10,370	△7.3
	業 務 用	〃	410,072	397,434	12,638	3.2
	卸 供 給	〃	81,473	82,144	△671	△0.8
	計	〃	622,278	620,681	1,597	0.3
お 客 さ ま 戸 数	千戸	1,132.4	1,129.7	2.7	0.2	
平 均 気 温	℃	21.0	20.7	0.3	—	

(注) 1. ガス販売量は、毎月の検針による使用量の計量に基づいたものを45MJ(メガジュール)/m³で表記しております。

2. お客さま戸数は、四半期末の都市ガスメーター取付個数であります。

〔原油価格及び為替レート〕

項 目	単位	当第3四半期 連結累計期間 (2022.4~2022.12)	前第3四半期 連結累計期間 (2021.4~2021.12)	増 減	増減率 (%)
原 油 価 格	ドル/バレル	103.43	65.34	38.09	58.3
為 替 レ ー ト	円/ドル	136.50	111.14	25.36	22.8

<セグメント別の概況>

①ガス

当第3四半期連結累計期間の都市ガス事業におけるお客さま戸数は113万2千戸であり、都市ガス販売量は前年同期に比べ0.3%増の622,278千m³となりました。このうち業務用ガス販売量につきましては、主に工業用分野において新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により3.2%増の410,072千m³となりました。家庭用ガス販売量は、巣ごもり需要の縮小や節約意識の高まり等により使用量が減少したことから7.3%減の130,733千m³となりました。他の事業者への卸供給ガス販売量につきましては、卸供給先の需要減により0.8%減の81,473千m³となりました。

以上のような都市ガス販売量の結果と原料費調整によるガス料金単価の上方調整の影響等により、売上高は前年同期に比べ36.6%増の108,328百万円となり、セグメント損益は売上高の増加に加え、前第3四半期連結累計期間に原料LNGをスポット市場から調達した影響による費用の増加がなくなったものの、家庭用ガス販売量の減少等により、2,010百万円の損失（前年同期はセグメント損失6,690百万円）となりました。

②LPG

LPG販売単価が上昇したこと等により、売上高は前年同期に比べ14.0%増の18,777百万円となったものの、セグメント損益はLPG仕入価格の上昇に伴う売上原価の増加に加え、新規物件獲得の販売促進費が増加したこと等により、286百万円の損失（前年同期はセグメント利益197百万円）となりました。

③電力・その他エネルギー

電力小売事業における販売単価の上昇及び販売量の増加等により、売上高は前年同期に比べ3.9%増の15,724百万円となり、セグメント利益はLNG出荷による増加があったものの電力仕入価格の上昇の影響等により、前年同期に比べ6.9%減の978百万円となりました。

④不動産

分譲マンションの販売戸数が減少した一方、宅地販売や海外での戸建販売が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.6%増の27,166百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ6.9%増の2,594百万円となりました。

⑤その他

その他の事業には、食関連事業（食品販売事業、飲食店事業）、情報処理事業等が含まれておりますが、食関連事業において新型コロナウイルス感染症の影響からの一部回復等により、売上高は前年同期に比べ9.8%増の21,000百万円となったものの、セグメント利益は仕入価格の上昇等により、前年同期に比べ13.1%減の93百万円となりました。

(単位：百万円、上段 対前年同期比)

項目	ガス	LPG	電力・ その他エネルギー	不動産	その他
売上高	+ 36.6 % 108,328	+ 14.0 % 18,777	+ 3.9 % 15,724	+ 5.6 % 27,166	+ 9.8 % 21,000
セグメント利益 又は損失(△)	— △ 2,010	— △ 286	△ 6.9 % 978	+ 6.9 % 2,594	△ 13.1 % 93

(注) 売上高及びセグメント利益又は損失(△)にはセグメント間取引消去又は振替高を含み、セグメント利益又は損失(△)には各セグメントに配分していない全社費用を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、427,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,056百万円増加いたしました。これは主に12月下旬のLNG受け入れに伴い原材料が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、338,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ23,079百万円増加いたしました。これは主に社債や原材料の購入に伴い買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、89,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,978百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加に伴い利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は19.4%（前連結会計年度末18.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月31日の「2023年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	25,174	21,413
供給設備	69,805	67,308
業務設備	12,882	12,695
その他の設備	116,833	120,186
建設仮勘定	2,927	4,203
有形固定資産合計	227,624	225,806
無形固定資産		
のれん	99	76
その他無形固定資産	3,210	2,999
無形固定資産合計	3,310	3,075
投資その他の資産		
投資有価証券	39,692	46,870
長期貸付金	428	443
退職給付に係る資産	7,861	8,279
繰延税金資産	4,594	4,669
その他投資	8,319	6,391
貸倒引当金	△414	△315
投資その他の資産合計	60,481	66,337
固定資産合計	291,415	295,220
流動資産		
現金及び預金	25,535	30,042
受取手形、売掛金及び契約資産	24,483	32,572
商品及び製品	5,039	6,324
仕掛品	27,043	34,005
原材料及び貯蔵品	4,827	17,013
その他流動資産	17,493	12,692
貸倒引当金	△172	△149
流動資産合計	104,248	132,500
資産合計	395,664	427,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
固定負債		
社債	67,280	72,140
長期借入金	131,241	132,177
繰延税金負債	285	910
ガスホルダー修繕引当金	379	368
退職給付に係る負債	1,839	1,736
資産除去債務	378	714
その他固定負債	10,271	9,929
固定負債合計	211,677	217,975
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	35,480	48,209
支払手形及び買掛金	10,217	20,245
短期借入金	37,773	35,382
未払法人税等	3,121	1,081
その他流動負債	16,754	15,208
流動負債合計	103,347	120,127
負債合計	315,024	338,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,629	20,629
資本剰余金	5,785	5,775
利益剰余金	41,850	47,073
自己株式	△371	△368
株主資本合計	67,893	73,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,457	5,127
繰延ヘッジ損益	△10	—
為替換算調整勘定	660	2,840
退職給付に係る調整累計額	2,333	2,053
その他の包括利益累計額合計	6,441	10,021
非支配株主持分	6,304	6,486
純資産合計	80,639	89,617
負債純資産合計	395,664	427,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	144,079	178,186
売上原価	96,756	126,864
売上総利益	47,323	51,321
供給販売費及び一般管理費	50,922	50,266
営業利益又は営業損失(△)	△3,599	1,055
営業外収益		
受取利息	61	6
受取配当金	716	704
持分法による投資利益	112	455
雑貸貸料	121	120
雑収入	1,276	1,148
営業外収益合計	2,288	2,436
営業外費用		
支払利息	960	882
社債発行費償却	79	64
雑支出	433	503
営業外費用合計	1,473	1,449
経常利益又は経常損失(△)	△2,784	2,041
特別利益		
投資有価証券売却益	762	8,525
特別利益合計	762	8,525
特別損失		
固定資産売却損	159	—
投資有価証券評価損	446	—
関係会社出資金譲渡損	229	—
特別損失合計	835	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△2,856	10,566
法人税等	△998	2,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,857	8,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	206	334
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,064	7,820

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,857	8,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,269	1,674
繰延ヘッジ損益	△31	10
為替換算調整勘定	137	455
退職給付に係る調整額	△253	△280
持分法適用会社に対する持分相当額	578	1,755
その他の包括利益合計	△2,837	3,614
四半期包括利益	△4,695	11,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,891	11,399
非支配株主に係る四半期包括利益	196	370

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これにより、取得価額をもって四半期連結貸借対照表価額としていた一部の投資信託等については、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とすることに変更しております。

なお、当該適用による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG	電力・ その他 エネルギー	不動産	計				
売上高									
外部顧客への売上高	78,019	13,482	14,666	22,147	128,315	15,764	144,079	—	144,079
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,284	2,996	466	3,570	8,317	3,368	11,685	△11,685	—
計	79,303	16,478	15,132	25,717	136,632	19,132	155,764	△11,685	144,079
セグメント利益 又は損失(△)	△6,690	197	1,051	2,426	△3,014	107	△2,906	△692	△3,599

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去又は振替高277百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△970百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG	電力・ その他 エネルギー	不動産	計				
売上高									
外部顧客への売上高	106,882	15,227	15,085	23,674	160,870	17,316	178,186	—	178,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,445	3,549	638	3,492	9,126	3,684	12,810	△12,810	—
計	108,328	18,777	15,724	27,166	169,997	21,000	190,997	△12,810	178,186
セグメント利益 又は損失(△)	△2,010	△286	978	2,594	1,276	93	1,369	△314	1,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△314百万円には、セグメント間取引消去又は振替高361百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△676百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。